

第四号書式（日本工業規格A列3番）

平成〇〇年 〇月 〇日

富山市長 殿

浮流物接触 報告書

船長 運輸 一郎 ㊟

船名	船質	船積番号	船籍港	総トン数	航行区域	主機の種類、 備数及び出力
北陸丸	鋼船	第 78766 号	富山市	499 トン	沿海区域	ディーゼル エンジン 1基 750 キ ワッ ト
船舶所有者	住 所	富山市新桜町〇番〇〇号				
	氏名又は名称	北陸運輸株式会社				
船 長	住 所	東京都千代田区〇〇番地	海免	種 類	三級船長士（航海）	
	氏 名	運輸 一郎	証状	番 号	第 14001400112 号	
機関長	住 所		海免	種 類		
	氏 名		証状	番 号	第 号	
発航港及び到達港		発航港 下関		到達港 富山		
事故発生の年月日時及び場所		平成〇〇年〇月〇日午前7時15分 〇〇沖				

事 実 の て ん 末

本船は………

………以上、事実のてん末を報告します。
船舶の用途、油タンカー

記載心得

1. (報告)には、「船名」、「船質」、「船積番号」、「船籍港」を報告する事実の存在を記載すること。
2. 主機に関する報告は船名に添える場合は、船名と主機が一致するものでないときは、記載することもない。
3. 船名は必ずしも正確に記述すること。
4. 航行中の船舶の乗組員は「船名」によって知られること。この報告の場合には、船名が正確に知られていない場合は、乗組員の名前を記載すること。
5. 船舶の乗組員に関する報告は、船名、船質、船積番号、船籍港の報告は原則として、当該船舶の乗組員であり、当該船舶として事実の存在を記載すること。
6. 船名が正確に知られていない場合は、誤りでない限り乗組員の名前を記載すること。
7. 報告書に記載以上の内容は、必要に応じて開示すること。